教育プログラム・コースの概要

大学名等	京都薬科大学大学院薬学研究科
教育プログラム・コース名	ライフステージに応じた個別化がん治療における全人的医療に貢献するがん専門薬剤師養成コース
対象者	薬学専攻博士課程大学院生
修業年限（期間）	4年
養成すべき人材像	がん薬物療法の様々な学術分野に関する高度な専門知識と基礎的又は臨床的薬学研究能力を有し、患者のライフステージ（主に「壮年」・「高齢者」）に応じたテーラーメイド医療を実践できる臨床薬剤師を養成する。特に地域包括ケアシステムにおけるがん薬物治療において指導的役割を果たし、高度で先進的な在宅医療の基盤となるエビデンス構築を担う研究スキルを備えた薬剤師の養成を目指す。
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	薬系大学院と大学病院・地域薬局との連携による薬剤師を対象とした効率的な一貫教育システムを構築し、薬学の専門性を基盤として地域包括ケアシステムにおけるライフステージ（主に壮年・高齢者）に応じたがん治療の中心的役割を担う薬剤師の育成を特色とする。既存のテーラーメイドがん治療の進展に資する「がん専門医療人材」の育成コースを発展させ、中核病院とかかりつけ薬局の両方において科学的基盤を構築できる人材養成を目指す。薬系大学院において研究手法（研究デザインや遺伝子解析法など）を修得し、地域医療ネットワークにおいて医療人であり研究者としても活躍できる薬剤師の育成を特徴としている。
指導体制	大学では、大学院指導教員の教育研究指導を受ける。 学外での各プログラムにおいては、連携大学病院薬剤部又は地域連携医療機関の医療従事者（医師、薬剤師、看護師等）の実習指導を受ける。
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	・専門知識と学位を有する薬剤師として、病院や地域薬局においてキャリアを積む。 ・がん薬物療法や緩和医療、在宅医療に係わるがん専門薬剤師。 ・当該領域における後進の育成に寄与するがん指導薬剤師。 ・がん薬物療法や緩和医療、在宅医療に関する新たなエビデンスを創出する研究者及び大学などにおける教育者。

受入目標人数

対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
大学院博士課程	1	1	1	1	1	5
計	1	1	1	1	1	5